活動報告書

Activity Report 2007
January-December, 2007
Médecins Sans Frontières Japan

2007年1月～12月

特定非営利活動法人
国境なき医師団日本

2008年3月作成

1999年
ノーベル平和賞受賞

MEDECINS SANS FRONTIERES
国境なき医師団

エチオピア、ソマリ地方
MSFの診療所で重度栄養失調の治療を受ける4才の少女

©Dieter Telemans

Activity Report 2007
January-December, 2007
Médecins Sans Frontières Japan

CONTENTS

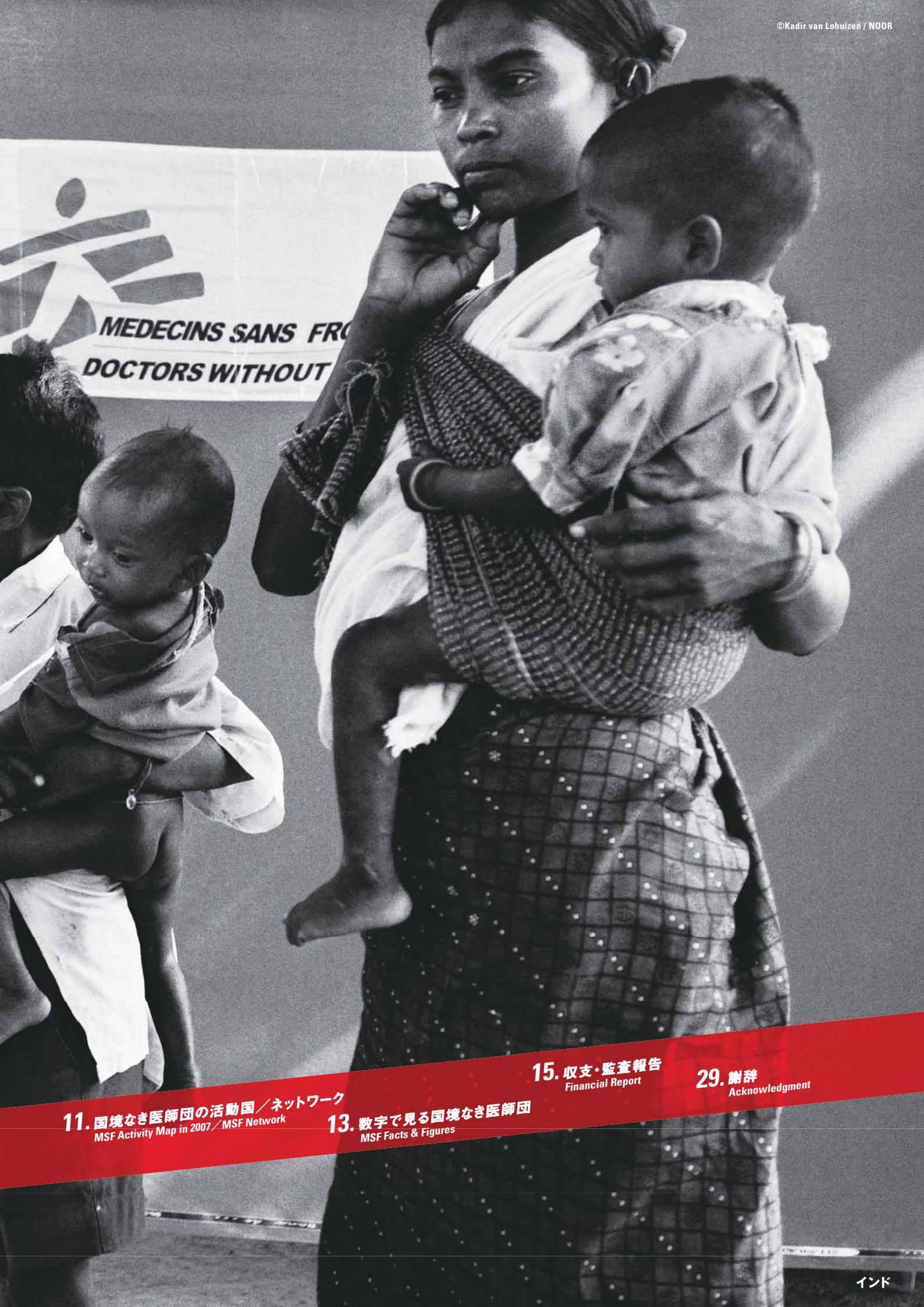
Activity Report 2007

3. 会長・事務局長からの挨拶
Message from President & General Director

7. 国境なき医師団憲章／国境なき医師団とは
The Charter of MSF／About MSF

8. 10の原則
10 Principles of MSF

9. 国境なき医師団日本の資金援助対象国／派遣者一覧
Countries & Regions MSF Japan Funded in 2007／Field Staff Sent by MSF Japan in 2007



©Kadir van Lohuizen / NOOR

11. 国境なき医師団の活動国／ネットワーク
MSF Activity Map in 2007／MSF Network

13. 数字で見る国境なき医師団
MSF Facts & Figures

15. 収支・監査報告
Financial Report

29. 謝辞
Acknowledgment

インド

会長・事務局長からの挨拶

Message from President & General Director

MSF日本が2007年に成し遂げたさまざまな実績を大変うれしく思っております。とりわけ事務局長のエリック・ウアネス氏とそのチームのすばらしい活動に対して心から感謝しています。また同氏には、本活動報告を共に行うべき立場であったにも関わらず任期半ばにして去った私の後を引き継いでいただきました。この場をお借りしてお礼申し上げます。

I am very happy with the wonderful activities MSF Japan could realise during the year 2007. I'd like to express my utmost thanks to Mr. Eric Ouannes and his team for their wonderful job. I am also grateful to him who took in charge of this report we were supposed to make together but I needed to ask him after my departure.

国境なき医師団日本
前会長　臼井 律郎
Ritsuro Usui
Formar-president
Médecins Sans Frontières Japan

国境なき医師団日本
会長　井田 覚
Satoru Ida
President
Médecins Sans Frontières Japan

（※2008年3月30日着任）

2007年、一部の地域では援助活動をおこなう上での危険が増大し、国境なき医師団（MSF）は、援助を必要としている人びとの元に赴くための新たな手法の開拓に力を注ぎました。なかでもイラク紛争の被害者を対象とする活動には特筆すべきものがありました。イラクの大半の地域は人道援助従事者が安全に活動できる状況にはなく、MSFは最も危険な地域を取り囲むヨルダン、イラン、およびイラク北部のクルド地域の病院に拠点を設けて、外科手術を実施してきました。イラク国内で負傷した患者が、適切な治療を受けるためにこれら3ヵ所の病院に搬送されました。

MSFのオペレーション部はまた、ソマリアの首都モガディシオを含む同国南部で活動を再開することに成功しました。なおも不安定な情勢が続いていたことから、チームを危険にさらすことがないよう現地での活動をある程度制限し、遠隔管理による活動を行いました。一方チェチェン共和国での活動は、残念ながら完全な遠隔管理で続けざるを得ませんでした。現在、こうした手法による活動の結果について、医療面での効果、現地の状況に対するMSFの理解度、MSFへの受容度という点から評価を行っています。2004年に5人のスタッフが殺害され活動を停止したアフガニスタンでは、依然として膨大な援助ニーズのあるものの、活動を再開するには至りませんでした。

日本での活動は、2007年も発展を続けました。オペレーションデスクは、充分なスタッフを揃えて責任も増大し、新たな展望が期待されています。またその相乗効果が、さまざまな面でMSF日本の発展に寄与しました。

MSFの国際的な意思決定の場においては、全支部間の結束を実務・会員交流の両面において強めることが確認されました。これを受けて、MSF日本は国際的に新たな役割を担い、新たな環境に迅速に適応することが求められています。当支部への要求の高まりは、さらに活発かつ重要な新たな役割を希求するMSFの運動の中から生じたものです。日本でも、各支部が実践しているように、全国および海外から参加する会員間のつながりを発展させ活性化させるための新たなポストを創設しました。

このように要求の多い状況で、MSF日本は、国際社会がMSFに求める役割および最終的な受益者によりよく貢献することを最終的な目標として、専門性の向上に向けて努力を続けていかねばなりません。

この場をお借りして、前会長の臼井律郎医師に対し、MSF日本での長きにわたる貢献に深い感謝の念を表したいと思います。同医師のMSFの理念への徹底的な献身と、当支部を尊敬に値する組織にしたいという熱意によって、多くの業績が成し遂げられました。

Confronted with increased risks in some contexts, in the course of 2007, MSF tried to develop new operational approaches in order to reach patients in need. This has been particularly true for victims of the Iraqi conflict. As the situation in most parts of Iraq does not allow a presence of humanitarian workers, MSF tried to offer surgery care for trauma near or around the most dangerous areas - in Jordan, Iran and Kurdistan. Patients are transferred to these three MSF hospitals in order to receive appropriate care.

Our operational teams also succeeded in returning to southern Somalia, including Mogadishu. Although our teams were present in the field, some programs had to be operated remotely so as not to expose our teams to the ongoing volatile context. In Chechnya, MSF unfortunately had to carry out all its programs remotely.
Discussions are currently being held to assess the consequences of these operational approaches, both in terms of their medical efficacy and overall MSF context comprehension and reputation. MSF has not yet returned to Afghanistan (where immense needs still exist) following the murder of five of our field workers in 2004.

MSF Japan continued to develop its activities in 2007. The operational unit is now fully staffed, has more responsibilities and new perspectives are anticipated. Subsequent synergies have been enhanced and developed.

Following international decisions, the interdependence among all MSF sections started to be implemented both at executive and associative levels. This has resulted in MSF Japan playing a new role on the MSF international scene, and has forced it to quickly adapt to this new environment. There is more expectation of MSF Japan from the MSF movement. MSF Japan's role will be redefined, more active and more significant. A new position was created to develop and engage the association both in Japan and abroad in line with the international network recommendations.
In this demanding environment, MSF Japan must further its efforts to enhance its professional expertise, with the ultimate objective of serving better the international needs of MSF as well as our beneficiaries.

I want to deeply thank Dr. Usui for his long involvement in MSF Japan. Many achievements were made possible thanks to his full dedication to MSF principles and to his eagerness to make MSF Japan a respected organisation.

国境なき医師団日本
事務局長　エリック・ウアネス
Eric Ouannes
General Director
Médecins Sans Frontières Japan

©MSF

ヨルダン
戦傷外科

爆弾テロ攻撃による負傷者が続出するイラクでは、高度な手術を受けることが非常に難しい。そうした患者を隣国ヨルダンに搬送し、形成・整形外科手術を行うプログラムには日本人形成外科医も参加した。

©Seven Torfinn

スーダン南部
医療の欠如

脱水症状に陥った子どもの治療に当たる看護師。スーダン南部の大部分では内戦終結後も社会基盤の整備が進まず、多くの人びとはいまだに基礎的な医療さえ受けることができない。

国境なき医師団憲章

The Charter of MSF

Médecins Sans Frontières provides assistance to populations in distress, to victims of natural or man-made disasters and to victims of armed conflict. They do so irrespective of race, religion, creed or political convictions.

国境なき医師団は
苦境にある人々、天災、人災、
武力紛争の被災者に対し
人種、宗教、信条、政治的な関わりを超えて
差別することなく援助を提供する。

Médecins Sans Frontières observes neutrality and impartiality in the name of universal medical ethics and the right to humanitarian assistance and claims full and unhindered freedom in the exercise of its functions.

国境なき医師団は
普遍的な「医の倫理」と
人道援助の名のもとに、中立性と不偏性を遵守し
完全かつ妨げられることのない自由をもって
任務を遂行する。

Members undertake to respect their professional code of ethics and to maintain complete independence from all political, economic, or religious powers.

国境なき医師団のボランティアは
その職業倫理を尊び、すべての政治的、
経済的、宗教的権力から完全な独立性を保つ。

As volunteers, members understand the risks and dangers of the missions they carry out and make no claim for themselves or their assigns for any form of compensation other than that which the association might be able to afford them.

国境なき医師団のボランティアは
その任務の危険を認識し
国境なき医師団が提供できる以外には
自らに対していかなる補償も求めない。

国境なき医師団とは

About MSF

医療援助を第一に

国境なき医師団（MSF）は、非営利の国際的な民間の医療・人道援助団体です。緊急医療援助を主な目的とし、世界約60の国と地域に年間約4600人の医師、看護師、助産師らを派遣して、危機に瀕した人びとの救援活動を行っています。1971年にフランスで設立されました。

独立・中立・公平

MSFは誰からも干渉や制限を受けることなく、助けを必要としている人びとのもとへ向かい、人種や政治、宗教に関わらず分けへだてなく援助を届けます。

世論に訴える

援助活動の現場では、虐殺や強制移住など激しい人権侵害を目の当たりにすることもあります。MSFはそのようなとき、医療だけでは人びとの命を救うことができない現状を国際社会に証言します。

©Dieter Telemans

エチオピア

10の原則

10 Principles of MSF

国境なき医師団(MSF)は、人間としての尊厳を奪われた人々の生命を守り、その苦しみを少しでも軽くするために創設された。MSFは窮状におかれた人々に医療を届け、彼らが再び自らの手で未来を切り拓いていけるよう手助けをする。

1 第一に医療援助活動

MSFの活動は何よりも医療援助である。それはまず第一に、危機に瀕している人々のいる場所に行き、病気の治療と予防を行うことを意味する。しかし非常な緊急事態など、医療のみでは生命を守りきれない状況では、給水、衛生管理、食糧の供給、避難所の設置など医療以外の手段も講じる。
この活動は主に、医療システムが急激に崩壊したり、人々の生存そのものが危ぶまれるような状況において行われる。

2 証言活動

証言は、危機的状況におかれた人々の状況を改善する目的で行われる。証言活動は次の要素に立脚している。

- 危機的な状況におかれた人々に医療活動をとおして接し、話に耳を傾けるMSF現地活動スタッフの存在
- これらの人々に対する世論の関心を呼び起こす義務
- 国際条約の違反を公に批判、糾弾する可能性(これはMSF現地活動スタッフが、強制移住や難民の強制送還、大量殺戮、人道に対する罪、戦争犯罪をふくむ人権侵害の目撃者となった場合に講じる、最後の手段である。)

ときには世論に訴えることなく援助活動を続けることが、窮状におかれた人々の利益となる場合もある。人道援助が作為的に利用されているような状況では、援助を行わずに告発することが必要な場合もある。

3 医療倫理の遵守

MSFの活動は、医療倫理、とりわけ個人や集団がその行為によって傷つけられてはならないという原則を遵守して行われる。窮状におかれた人の一人一人が尊厳をもって公平に扱われ、また患者の個人情報は守られなければならない。
別の面から言えば、状況や誰が利益を得るかにかかわらず、職業倫理に則った医療行為を行った者がそれを理由に罰せられることはない。
医療行為にたずさわる者が、職業倫理や国際法に反する行為を行うよう強制されることはない。

4 人権の擁護

MSFは、人権と国際人道法の原則をその拠って立つところとする。この原則には以下の認識が含まれる。

- 各人が有する基本的権利と自由を尊重する義務。これには1948年の世界人権宣言に述べられている心身の健全、思想と移動の自由が含まれる。
- 窮状におかれた人々が援助を受ける権利、および一定の条件のもとで人道援助団体が援助活動を行う権利。その条件とは、援助の必要性を調査し評価する自由があること、援助を必要としている人々に接する自由があること、援助物資の分配を自ら管理できること、そして人命が尊重されていることである。

5 独立性への配慮

MSFの独立性は、何よりもまず、独立した立場で状況を分析し活動するための条件である精神の独立、すなわち活動の期間や必要な手段など、活動における選択の自由を特徴としている。
この独立性は、組織としてのレベルでも、個々のMSF現地活動スタッフのレベルでもあらわれてくる。

- MSFは、政治的、宗教的、経済的、その他すべての組織や権力からの徹底した独立を追求する。いかなる政権の外交政策の道具となることも利用されることも受け容れない。独立性への配慮とは、資金面での独立性でもある。MSFは、個人や企業からの寄付を最大限に確保し、公的機関などの資金源を多様化し、また独立性が損なわれる恐れがあるときは資金提供の申し出を拒否するよう努める。
- MSFの現地活動スタッフは一個人であるべきものとし、自ら、政治的に、組織的に、あるいは個人的な行動または意見によってMSFを関係させたり、巻き込むことをしない。

6 公平性

公平性は、MSFの活動に不可欠であり、活動における独立性と密接に結びついている。公平性は、無差別の原則と比例の原則によって定義される。

- 政治、人種、宗教、性別、その他いかなる基準によっても差別をしないという意味における無差別。
- 需要の大きさに応じるという意味における援助の比例。もっとも危機的で急を要する状況にある人々が優先的に援助を受ける。

7 中立性の精神

MSFは武力紛争において、当事者の一方の側につくことはせず、その意味で中立性の原則を遵守する。
しかしながら甚だしい人権侵害をMSF現地活動スタッフが目撃するような極端な場合においては、支援する人々を救う最後の手段として、告発という手段をとる。そういった人権侵害が続く場合には、援助活動はそれのみでは効果を持ち得ない。そのためMSFは、中立性原則を厳守するのではなく、暴虐を止め、人々のおかれた状況を改善するために、声をあげて世論に訴える。

8 義務と透明性

危機に瀕した人々に対し、MSFは自らの資源を結集し活用しなければならない。
援助の質・効果をともに最大限に高めるため、MSFは能力と手段を有効に活用するとともに、援助物資の配給を直接管理し、その効果を定期的に評価するよう努める。
MSFは、援助を受ける人々や寄付者に対して、活動を明瞭に報告する義務を負う。

9 自発的に参加する現地活動スタッフからなる組織

MSFは自発的参加の精神に基づく団体である。これは主に以下の2点を意味する。

- 窮状にある人々に対する援助に各々が責任を持って臨む。組織の責任は一人一人の現地活動スタッフが負う責任の上に成り立っている。
- 現地活動スタッフ個人が報酬を求めない。自発的参加の精神は、妥協や惰性、組織の硬直化に陥らないための重要な要素である。

10 同じ目的の下に集ったメンバーが運営する非営利の組織

現地活動スタッフがMSFに参加することは、1つのプログラムを成し遂げることだけでなく、団体の運営に積極的に参加し、その憲章や原則を尊重することでもある。
MSFの様々な意思決定の場において、その構成メンバーは対等な発言権を有し、現地活動スタッフは実質的に参加することができる。これが、各々が組織の担い手であるという団体の性格を保証する。
また、MSFは柔軟性と革新性を維持するために、常に新たな現地活動スタッフを迎え入れる。自発的参加の精神に通じるこの性格によって、MSFは社会に対し率直であり、自らの活動に対して客観的な視点を保つことができる。

10 Principles of MSF

1. Medical Action First
2. Temoignage (Witnessing): An Integral Complement
3. Respect for Medical Ethics
4. Defense of Human Rights
5. Concern for Independence
6. A Founding Principle: Impartiality
7. A Spirit of Neutrality
8. Accountability and Transparency
9. An Organization of Volunteers
10. Operating as an Association

2007年度

国境なき医師団日本の資金援助対象国／派遣者一覧

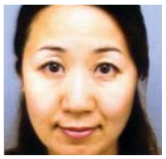
Countries & Regions MSF Japan Funded in 2007／
Field Staff Sent by MSF Japan in 2007

2007年、MSF日本を通じて集まった資金は18の国と地域での活動に充てられました。また日本から45名のスタッフが延べ54回派遣され、世界各地で援助活動を行いました。

※表記は氏名、ポスト、派遣先国名、地域、派遣期間

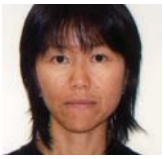
アフリカ

ウガンダ Uganda



Akemi Kamitaira
上平 明美
看護師
ウガンダ（アルア）
2007.3〜2008.1

Osamu Kasahara
笠原 修
ロジスティシャン
ウガンダ（バテング）2007.4〜2007.7
ウガンダ（カンパラ）2007.8〜2007.10

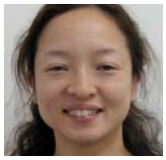


Akiko Matsumoto
松本 明子
看護師
ウガンダ（カラモジャ）
2007.12〜派遣中

エチオピア Ethiopia

Yukari Yoshida
吉田 ゆかり
看護師
エチオピア（アブドゥラフィ）
2007.6〜派遣中

ケニア Kenya



Nozomi Aoike
青池 望
内科医
ケニア（ホマベイ）
2007.3〜2007.12

Junko Nakatsuka
中塚 順子
臨床検査技師
ケニア（ホマベイ）
2007.3〜2007.12

スーダン Sudan

Yuka Sugahara
菅原 由佳
財務コーディネーター
スーダン（ダルフール）
2007.1〜2007.7

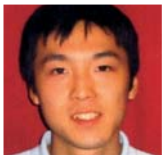
Miyako Tachibana
橘 都
看護師
スーダン（ダルフール）
2007.2〜2007.7

Yoko Kimura
木村 陽子
財務コーディネーター
スーダン（ジュバ）
2007.2〜2008.2

Miki Tokuma
徳間 美紀
助産師
スーダン（レッドシー）
2007.3〜2007.11

Kyoko Matsukawa
松川 恭子
助産師
スーダン（ダルフール）
2007.3〜2007.12

Shinjiro Murata
村田 慎二郎
ロジスティシャン
スーダン（ダルフール）
2007.4〜2008.2



Hayato Oguchi
小口 隼人
ロジスティシャン
スーダン（ダルフール）2007.5〜2007.9
スーダン（ダルフール）2007.9〜2008.3

スーダン Sudan

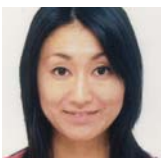
Fumihiro Okamoto
岡本 文宏
内科医
スーダン（ダルフール）
2007.5〜2007.11

Vivek Mishra
ミシャラ ビベック
ロジスティシャン
スーダン（ハルツーム）
2007.8〜派遣中

ソマリア Somalia

Maki Kogo
小郷 真紀
助産師
ソマリア（ベレトウェイン）
2007.5〜2007.11

ナイジェリア Nigeria



Junko Akaishi
明石 淳子
看護師
ナイジェリア（ポートハーコート）
2007.7〜派遣中

Michiko Kyokan
京寛 美智子
看護師
ナイジェリア（ポートハーコート）
2007.11〜派遣中

マラウイ Malawi

Kunio Yamazumi
山住 邦夫
ロジスティシャン
マラウイ（リンベ）
2007.3〜2007.12

リベリア Liberia

Takanori Kyogoku
京極 敬典
小児科医
リベリア（モンロビア）
2007.2〜2007.8

アジア 中近東

イエメン Yemen

Mamiko Hagiwara
萩原 麻美子
内科医
イエメン（アワル）
2007.8〜2008.2

Misa Sugawara
菅原 美紗
内科医
イエメン（ラゼ）
2007.10〜派遣中

イラン Iran

Yasuko Ota
太田 靖子
看護師
イラン（ザヘダン）
2007.5〜派遣中

Yuko Shinada
品田 裕子
看護師
イラン（メルハン）
2007.8〜2007.12

スリランカ Sri Lanka

Kumi Mehara
目原 久美
内科医
スリランカ（バティカロア）
2007.4〜2007.11

Akiko Yamamoto
山本 阿紀子
産婦人科医
スリランカ（バティカロア）2007.4〜2007.8
スリランカ（ポイントペドロ）2007.9〜2007.11

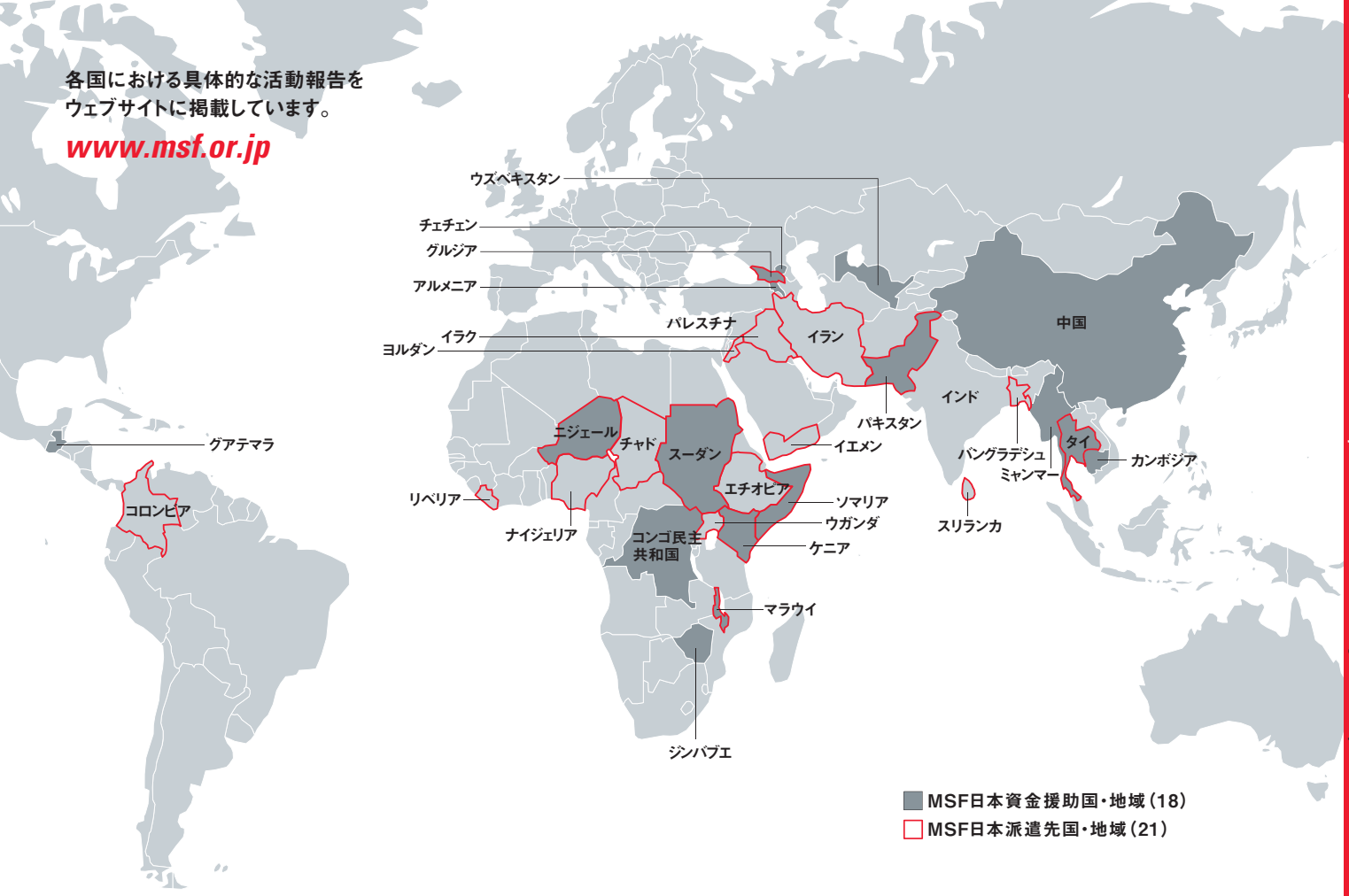
海外派遣スタッフを募集しています。

医療従事者および財務人事などの専門家を常時募集しています。お気軽にお問い合わせください。

TEL：03-5337-1499（リクルート担当直通）
recruit@tokyo.msf.org
またはMSFウェブサイトから。

各国における具体的な活動報告を
ウェブサイトに掲載しています。

www.msf.or.jp

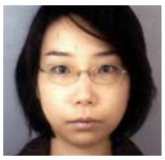


スリランカ Sri Lanka

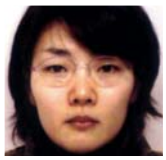
Ruriko Nishino
西野 るり子
産婦人科医
スリランカ（ポイントペドロ）
2008.12〜2008.3

Mariko Ito
伊藤 まり子
産婦人科医
スリランカ（ポイントペドロ）
2007.11〜2007.12

グルジア Georgia



Keiko Fukino
吹野 恵子
内科医
グルジア（ズグジジ）
2007.2〜2007.4



Yumiko Ishizuka
石塚 由実子
内科医
グルジア（アブハジア）
2007.7〜2007.10

タイ Thailand

Yoko Miura
三浦 曜子
財務コーディネーター
タイ（バンコク）
2007.9〜派遣中

Yusuke Shimakawa
島川 祐輔
内科医
タイ（ペッチャブン）
2007.10〜派遣中

Hyemija Kim
金 恵美子
看護師
タイ（ペッチャブン）
2007.10〜2008.1

タイ Thailand

Chieko Moriwaki
森脇 千英子
ロジスティシャン
タイ（ペッチャブン）
2007.12〜派遣中

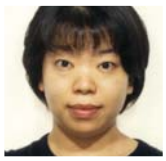
パキスタン Pakistan

Chikako Kinoshita
木下 稚佳子
助産師
パキスタン（クエッタ/クシュラック）
2007.12〜派遣中

パレスチナ Palestinian Territories

Akiko Kono
河野 暁子
臨床心理士
パレスチナ（ヘブロン）
2007.10〜派遣中

バングラデシュ Bangladesh



Miyabi Matsuyama
松山 雅
精神科医
バングラデシュ（テクナフ）
2007.3〜派遣中

ヨルダン Jordan

Takashi Nakagawa
中川 崇
形成外科医
ヨルダン（アンマン）
2007.5〜2007.6

Ryukichi Ishida
石田 龍吉
整形外科医
ヨルダン（アンマン）
2007.8〜2007.9

南米 ▶

コロンビア Colombia

Miho Masuo
増尾 美帆
看護師
コロンビア（アラウカ）
2007.7〜2007.7

複数国 ▶

複数国

Satoru Ida
井田 覚
ロジスティシャン
スーダン（ニャムレル）2007.2〜2007.4
ヨルダン（アンマン）2007.5〜2007.6
イラク（スレイマニア）2007.6〜2008.2

Misato Tamura
田村 美里
助産師／看護師
チャド（イリバ）2007.2〜2007.6
ニジェール（ダコロ）2007.7〜派遣中

Yoji Sugamura
菅村 洋始
外科医
ナイジェリア（ポートハーコート）
2007.5〜2007.6
イラン（メルハン）2007.12〜2007.12

Nobuko Kurosaki
黒﨑 伸子
外科医
スリランカ（バティカロア）2007.7〜2007.8
ナイジェリア（ポートハーコート）2007.8〜2007.9

Kentaro Hayashi
林 健太郎
麻酔科医
スリランカ（バティカロア）2007.7〜2007.8
イラク（スレイマニア）2007.12〜2008.2

国境なき医師団の活動国／ネットワーク

MSF Activity Map in 2007／MSF Network

国境なき医師団（MSF）は2007年度、60の国と地域において医療・人道援助プログラムを実施しました。緊急の危機に柔軟に対応するため、MSFは毎年数多くの個別プログラムを開始あるいは終了させています。多様なニーズに対応すべく、ひとつの国の中で複数のプログラムを実施することもあります。活動地では常に患者のニーズの変化を観察し、可能な場合には現地保健当局や他のNGOなどにプログラムの引継ぎを行っています。

MSF Network

MSFは世界19ヵ国に支部を持つ国際的な組織です。本部は存在せず、それぞれの支部が国際憲章に基づき独立して活動を行いながら緩やかなネットワークで結ばれています。

オペレーション支部

プログラムの運営を担当し、医療チームを編成・派遣する。

オランダ　スイス　スペイン　フランス　ベルギー

パートナー支部

活動に参加するスタッフを募集・派遣するほか、広報活動、募金活動を行う。

アメリカ合衆国　イギリス　イタリア　オーストラリア　オーストリア
カナダ　ギリシャ　スウェーデン　デンマーク　ドイツ
日本　ノルウェー　香港　ルクセンブルク

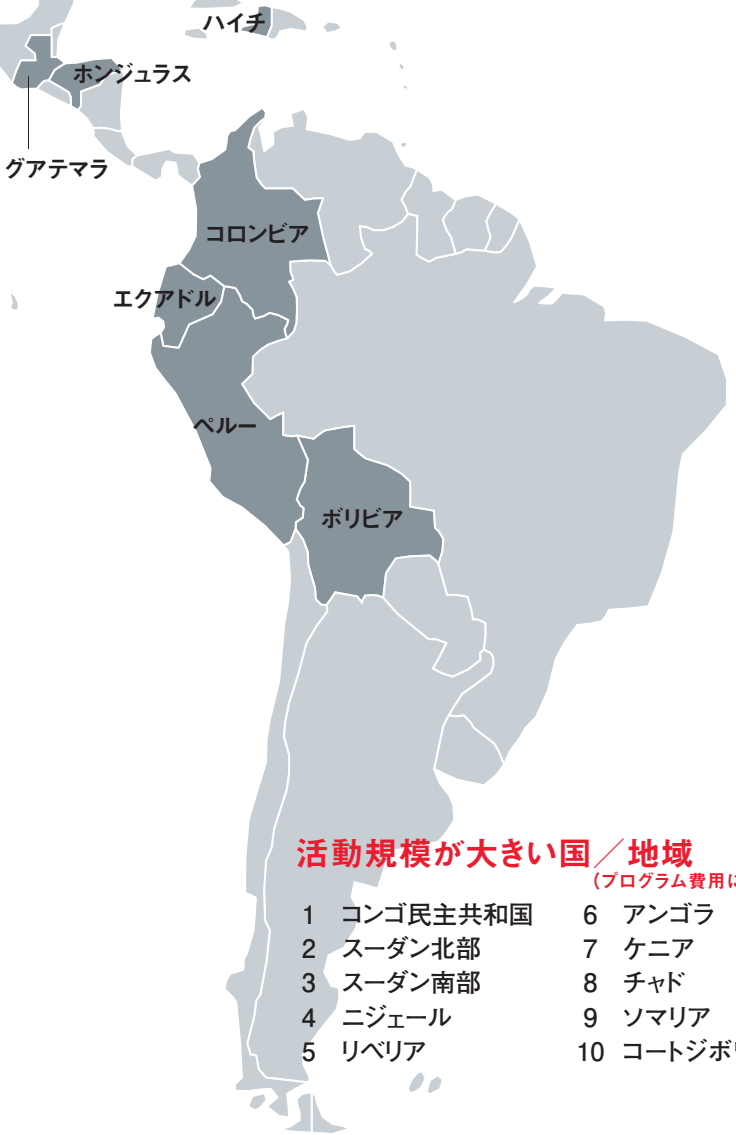
MSFインターナショナル

支部間の調整を行う機関。（スイス）

付属組織

ロジスティックセンター（フランス・ベルギーほか）
物資の購入、管理、輸送を担当し、効率的な援助活動のための物資調達を支える。

エピセンター（フランス）
疫学研究組織。MSFの活動地で得られた医学的情報の分析などを行う。



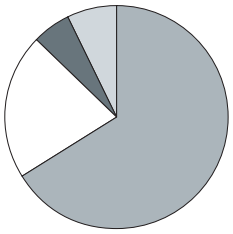
活動規模が大きい国／地域

（プログラム費用に基づく）

1 コンゴ民主共和国
2 スーダン北部
3 スーダン南部
4 ニジェール
5 リベリア
6 アンゴラ
7 ケニア
8 チャド
9 ソマリア
10 コートジボワール

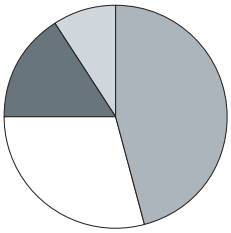
大陸別活動費

アフリカ	66.0%
アジア	21.0%
アメリカ	5.5%
ヨーロッパ	7.0%



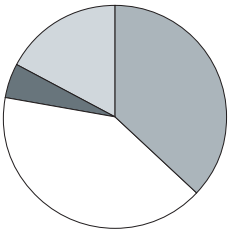
援助活動の背景

安定した状況	46.0%
武力紛争	29.0%
内政不安	16.0%
紛争後	9.0%



援助開始のきっかけとなった出来事

武力紛争	37.0%
感染症・疫病の流行	41.0%
自然災害	5.0%
社会的暴力、医療からの疎外	17.0%



数字で見る国境なき医師団

MSF Facts & Figures

ここに示す数値は、MSF全支部の財務状況を国際連結ベースで表すものです。これらの2006年度国際連結会計報告書は、ほとんどの国際財務報告基準に適合するMSFの国際会計基準に従って作成され、国際監査基準に従って会計事務所KPMGおよびErnst & Youngによる合同監査を受けました。2006年度版会計報告書の全文は、インターナショナル支部より入手可能です。また、MSFの各支部は、自国内の会計基準や法律に従って作成し、監査規則に沿って監査を受けた年次財務諸表を公表しています。これらの報告書の写しは各支部の事務局より入手可能です。

ここに示す会計報告は2006年1月～12月を対象としています。単位はすべて百万ユーロ（カッコ内百万円）です。（1ユーロ＝160円とする）

注：これらの表に示されている数字は端数を切り捨てているため、合計値が多少合わない場合があります。

MSFは効率的に活動を行う方法を模索した結果、「サテライト」と呼ばれる、人道援助物資の調達管理や、疫学・医学調査研究、人道援助・社会貢献活動の研究などの専門的活動を担う複数の専門機関を設立しました。これにはエピセンター（Epicentre）、EUP（Etat d'Urgence Production）、MSF財団（Foundation MSF）、MSFアシスタンス（MSF Assistance）、MSFエンタープライズ（MSF Enterprises Limited）、公施設法人国境なき医師団（Médecins Sans Frontières-Etablissement d'Utilité Publique）、MSFロジスティック（MSF-Logistique）、MSF不動産民事会社（SCI MSF）、サバン不動産民事会社（SCI Sabin）、そしてMSFサプライ（MSF Supply）があります。これらの機関はMSFの管理下にあるため、ここに示す財務諸表の対象に含まれます。

活動地域

アフリカ

国／地域	百万ユーロ	（百万円）
スーダン	49.3	（7,888）
コンゴ民主共和国	41.4	（6,624）
ニジェール	16.2	（2,592）
アンゴラ	14.8	（2,368）
リベリア	14.7	（2,352）
チャド	14.0	（2,240）
ケニア	13.5	（2,160）
ソマリア	12.7	（2,032）
コートジボワール	10.2	（1,632）
エチオピア	9.4	（1,504）
ウガンダ	9.1	（1,456）
ジンバブエ	7.5	（1,200）
マラウイ	7.4	（1,184）
ブルンジ	7.1	（1,136）
中央アフリカ共和国	6.7	（1,072）
モザンビーク	6.7	（1,072）
シエラレオネ	5.8	（928）
ナイジェリア	5.3	（848）
ザンビア	4.3	（688）
ギニア	3.3	（528）
コンゴ共和国	2.7	（432）
ルワンダ	2.7	（432）
南アフリカ共和国	2.7	（432）
ブルキナファソ	2.6	（416）
カメルーン	1.6	（256）
マリ	1.3	（208）
その他*	2.2	（352）
合計	275.2	（44,032）

アジア/中近東

国／地域	百万ユーロ	（百万円）
パキスタン	9.3	（1,488）
ミャンマー	7.3	（1,168）
インドネシア	7.2	（1,152）
カンボジア	4.8	（768）
インド	4.5	（720）
レバノン	4.0	（640）
アルメニア	3.0	（480）
タイ	3.0	（480）
グルジア	2.0	（320）
ネパール	2.0	（320）
中国	1.8	（288）
イラン	1.8	（288）
イラク	1.8	（288）
パレスチナ	1.8	（288）
ウズベキスタン	1.7	（272）
バングラデシュ	1.6	（256）
その他*	3.3	（528）
合計	60.9	（9,744）

中南米

ハイチ	9.7	（1,552）
コロンビア	5.8	（928）
グアテマラ	3.2	（512）
ペルー	1.2	（192）
その他*	2.4	（384）
合計	22.3	（3,568）

ヨーロッパ

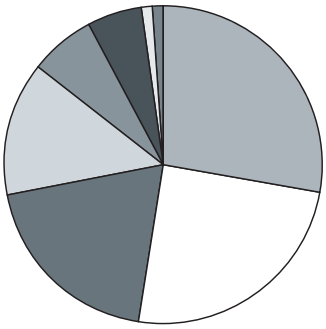
チェチェン/イングーシ/ダゲスタン	6.7	（1,072）
ロシア	2.5	（400）
イタリア	1.2	（192）
ベルギー	1.1	（176）
その他*	2.3	（368）
合計	13.8	（2,208）

*「その他」は、プログラム支出が100万ユーロ（約1億6000万円）以下の国をまとめている。

支出先

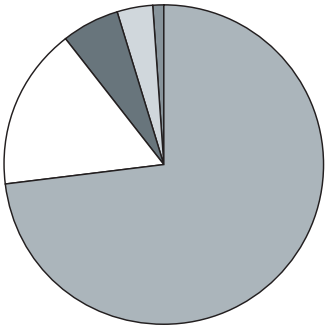
種類別活動費

現地スタッフ人件費	28.0%
外国人派遣スタッフ人件費	24.5%
医療・栄養治療用品費用	19.5%
交通・貨物輸送・備蓄費	13.7%
救援物資・衛生用品費用	6.5%
活動運営費	5.5%
その他	1.2%
トレーニング・現地サポート	1.0%



大陸別活動費

アフリカ	73.3%
アジア	16.2%
中南米	5.9%
ヨーロッパ	3.7%
未配分	0.9%



収入	2006 百万ユーロ	2006 (百万円)	2006 %	2005 百万ユーロ	2005 (百万円)	2005 %
個人寄付金収入	488.4	(78,144)	85.9	543.0	(86,880)	83.7
公的機関(ECHO*、EU、およびDFID**)	20.2	(3,232)	3.6	44.8	(7,168)	6.9
その他公的機関	41.6	(6,656)	7.3	45.5	(7,280)	7.0
その他	18.5	(2,960)	3.2	15.7	(2,512)	2.4
収入合計	568.7	(90,992)	100.0	649.0	(103,840)	100.0

*欧州委員会人道援助局 **イギリス国際開発省

活動費内訳	百万ユーロ	(百万円)	%	百万ユーロ	(百万円)	%
救援活動費	431.2	(68,992)	77.0	397.4	(63,584)	78.0
証言活動費	18.0	(2,880)	3.2	15.9	(2,544)	3.1
その他の人道援助活動費	7.9	(1,264)	1.4	8.0	(1,280)	1.6
活動費合計	457.1	(73,136)	81.6	421.3	(67,408)	82.7
募金活動費	71.8	(11,488)	12.8	59.8	(9,568)	11.8
一般管理費	30.9	(4,944)	5.5	28.2	(4,512)	5.5
支出合計	559.9	(89,584)	100.0	509.3	(81,488)	100.0
為替差損益	-4.5	-(707)		4.1	(656)	
次期繰越金	4.3	(675)		143.7	(22,992)	

貸借対照表(期末財政状況)	百万ユーロ	(百万円)	百万ユーロ	(百万円)
固定資産	35.8	(5,728)	35.5	(5,680)
流動資産	66.2	(10,592)	66.6	(10,656)
現金及び預金	347.5	(55,600)	352.1	(56,336)
資産合計	449.5	(71,920)	454.2	(72,672)
永久制限基金*1	2.5	(400)	2.8	(448)
非制限基金*2	389.4	(62,304)	384.6	(61,536)
その他内部留保金*3	-7.1	(-1,136)	1.5	(240)
内部留保金・正味財産合計	384.7	(61,552)	388.9	(62,224)
固定負債	3.7	(592)	5.0	(800)
流動負債	55.5	(8,880)	53.5	(8,560)
未払一時制限資金*4	5.6	(896)	6.8	(1,088)
負債・正味財産合計	449.5	(71,920)	454.2	(72,672)

スタッフ派遣実績				
スタッフ派遣(年間):	4,623	100%	4,768	100%
医師	1,292	28%	1,276	27%
看護師・その他医療従事者	1,500	32%	1,558	33%
非医療従事者	1,831	40%	1,934	40%
初回派遣者:	1,332	29%*	1,466	31%*
現地ポスト数:	26,981	100%	28,083	100%
外国人派遣スタッフ	2,022	7%	2,227	8%
現地スタッフ	24,959	93%	25,855	92%

*全派遣数に対しての比率

2007年の統計は、2008年6月末に公開の予定です。

収入

独立性を維持し社会との連帯を強化するための努力の一環として、MSFは個人寄付金収入の割合を高く保つよう取り組んできた。2006年は収入の89.1%を個人に頼っている。これは世界330万人以上の寄付者の方々と民間基金の協力によって達成することができた。その他公的機関には、ベルギー、カナダ、デンマーク、アイルランド、ルクセンブルク、オランダ、ノルウェー、スペイン、スウェーデン、スイス、イギリス政府が含まれている。

支出

支出はMSFによって行われた主な活動に従って計上されている。救援活動費にはプログラム関連の支出やMSF各支部による活動支援費用も含む。全支出項目には給与、直接費用および間接費用を含む。

*1 **永久制限基金**とは、資本金に相当するもので、寄付者により投資や支出を制限される長期留保資金、あるいは、最低水準の繰越資金として保持される資金を指す。

*2 **非制限資金**とは、寄付者が使途を指定していない資金の未使用分である。MSF理事の裁量により将来の活動を促進するために使われる。

*3 **その他内部留保金**とは、基金の資本金に加えて、換算方法の違いなど合算に伴う技術的な問題を指す。MSFの内部留保金は費用と収入の差額の累積によって蓄積されてきたものである。利用可能額は(換算方法の違いにより目減りした非制限基金)は2006年末時点で活動の8.2ヵ月分の資金に相当する。これらの留保金の目的は、運営のための予備費である。将来大きな人道的危機が発生した際に十分な資金が確保できない場合、民間又は公的資金が突発的に減少した場合、長期プログラム(ARV治療計画など)の維持のため、あるいは公的機関や一般募金活動をとおして資金が調達される前に活動を行う場合に使用される。

*4 **未払一次制限資金**とは、寄付者が使途を指定した資金の未使用分である。寄付者の希望(援助国、援助内容など)に厳密に従い、必要性が生じた際に使用する。

追加的開示:スマトラ島沖地震・津波

2004年12月に起きたスマトラ島沖地震・津波のための一般からの寄付は最終的に1億1100万ユーロ(約177億6000万円)にのぼった。MSFは2004年と2005年に、合計2450万ユーロ(約39億2000万円)を津波の被害を受けた地域で用いた。2006年には、津波関連の援助に限定した寄付金の残額230万ユーロ(約3億6800万円)を用いた。MSFのプログラム費用が2005年と2006年にはそれぞれ5000万ユーロ(約80億円)と4500万ユーロ(約72億円)に増加したため、寄付者の同意の上で使途の限定を解く、あるいは使途を振り替えた残りの寄付金を使い切った。

収支・監査報告

Financial Report

©Audrey St-Arnaud / MSF

コンゴ民主共和国

独立監査人の監査報告書

２００８年3月１４日

特定非営利活動法人　国境なき医師団　日本
　会長　草谷　洋光　　殿

あ ず さ 監 査 法 人

指 定 社 員
業務執行社員　公認会計士　高橋 宏

当監査法人は、特定非営利活動法人　国境なき医師団　日本の２００７年１月１日から２００７年１２月３１日までの２００７年度の財務諸表、すなわち、貸借対照表総括表、正味財産増減計算書総括表、キャッシュ・フロー計算書及び財産目録総括表（以下「財務諸表等」という。）について監査を行った。この財務諸表等の作成責任は理事者にあり、当監査法人の責任は独立の立場から財務諸表に対する意見を表明することにある。

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準は、当監査法人に財務諸表に重要な虚偽の表示がないかどうかの合理的な保証を得ることを求めている。監査は、試査を基礎として行われ、理事が採用した会計方針及びその適用方法並びに理事によって行われた見積りの評価も含め全体としての財務諸表の表示を検討することを含んでいる。当監査法人は、監査の結果として意見表明のための合理的な基礎を得たと判断している。

当監査法人は、上記の財務諸表等が、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠して、特定非営利活動法人　国境なき医師団　日本の２００７年１２月３１日現在の財政状態及び同日をもって終了する事業年度の正味財産増減及びキャッシュフローの状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。

特定非営利活動法人　国境なき医師団　日本と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以　　上

[English Translation of the Auditors' Report Originally Issued in the Japanese Language]

Independent Auditors' Report

Mr. Kusagaya, the president of Not-for-Profit Organization Médecins Sans Frontières Japon :

March 14, 2008
KPMG AZSA & Co.

Hiroshi Takahashi (Seal)
Designated and Engagement Partner
Certified Public Accountant

We have audited the financial statements, comprising the summary of balance sheet, the summary of net assets changes, the statement of cash flows and the summary of net assets of Not-for-Profit Organization Médecins Sans Frontières Japon for the year from January 1, 2007 to December 31, 2007 (hereinafter referred to as "the financial statements"). The financial statements and supporting schedules are the responsibility of the management of Not-for-Profit Organization Médecins Sans Frontières Japon. Our responsibility is to express an opinion on the financial statements and supporting schedules based on our audit as independent auditors.

We conducted our audit in accordance with auditing standards generally accepted in Japan. Those auditing standards require us to obtain reasonable assurance about whether the financial statements are free of material misstatement. An audit is performed on a test basis, and includes assessing the accounting principles used, the method of their application and estimates made by management, as well as evaluating the overall presentation of the financial statements. We believe that our audit provides a reasonable basis for our opinion.

In our opinion, the financial statements referred to above present fairly, in all material respects, the financial position of Not-for-Profit Organization Médecins Sans Frontières Japon as of December 31, 2007 and the changes in its net assets and its cash flows for year then ended in conformity with public service corporation accounting principles generally accepted in Japan.

Our firm and the engagement partner have no interest in Not-for-Profit Organization Médecins Sans Frontières Japon which should be disclosed pursuant to the provisions of the Certified Public Accountants Law of Japan.

特定非営利活動法人　国境なき医師団日本

正味財産増減計算書総括表

自 平成19年1月1日
至 平成19年12月31日

（単位:円）

科　目	一般会計	収益事業特別会計	合　計
Ⅰ. 一般正味財産増減の部			
経常増減の部			
(1)経常収入			
① 寄付金収入	**2,302,391,338**		**2,302,391,338**
一般個人寄付収入 （注1）	2,117,970,510		2,117,970,510
一般法人寄付収入 （注1）	131,149,755		131,149,755
その他の団体からの収入	53,271,073		53,271,073
② その他の収入	**1,907,423**	**941,318**	**2,848,741**
利息収入	702,865	1,053	703,918
公演に係る収入	524,500		524,500
商品販売事業による収入	0	828,825	828,825
その他	680,058	111,440	791,498
③ 指定正味財産からの振替	**0**		**0**
経常収入　計	**2,304,298,761**	**941,318**	**2,305,240,079**
(2) 経常費用			
① 救援活動費	**1,395,873,579**		**1,395,873,579**
1. 現地での救援活動支援費 （注2）	1,319,103,790		1,319,103,790
2. その他の海外での人道支援活動費 （注3）	25,387,624		25,387,624
3. 国内（ホームレス）救援活動費	3,174,121		3,174,121
4. 人件費	34,957,042		34,957,042
5. 旅費交通費	2,166,237		2,166,237
6. その他諸費用	11,084,765		11,084,765
② 広報活動費	**130,003,723**		**130,003,723**
1. 必須医薬品キャンペーン （注3）	8,949,485		8,949,485
2. 広告宣伝費	44,399,963		44,399,963
3. ダイレクトメール・ニュースレター	20,788,193		20,788,193
4. 人件費	29,659,514		29,659,514
5. その他諸費用	26,206,568		26,206,568
③ 募金活動費	**533,051,164**	**3,000,763**	**536,051,927**
1. 人件費	47,150,770	505,813	47,656,583
2. ダイレクトメール・ニュースレター	343,683,524		343,683,524
3. 業務手数料 （注5）	60,757,898	389,232	61,147,130
4. 広告宣伝費	29,497,086		29,497,086
5. 通信費	15,661,897	32,300	15,694,197
6. その他諸費用	36,299,989	2,073,418	38,373,407
④ 一般管理費	**114,454,730**		**114,454,730**
1. インターナショナル・オフィス活動費 （注3）	18,036,129		18,036,129
2. 人件費	56,727,740		56,727,740
3. 旅費交通費	7,744,420		7,744,420
4. 減価償却費 （注4）	5,845,068		5,845,068
5. 業務手数料 （注5）	12,028,983		12,028,983
6. その他諸費用	14,072,390		14,072,390
経常費用　計	**2,173,383,196**	**3,000,763**	**2,176,383,959**
当期一般正味財産増減額	**130,915,565**	**△2,059,445**	**128,856,120**
一般正味財産期首残高	**342,537,116**	**2,222,442**	**344,759,558**
一般正味財産期末残高	**473,452,681**	**162,997**	**473,615,678**
Ⅱ. 指定正味財産増減の部			
1. 収入の部			
使途指定寄付金収入 （注7）	5,896,210		5,896,210
2. 支出の部			
① 使途指定救援活動支援費 （注7）	5,896,210		5,896,210
② 一般正味財産への振替額	0		0
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
Ⅲ. 正味財産期末残高	**473,452,681**	**162,997**	**473,615,678**

（注1） 現物による寄付合計　8,995,459円を含む。
（注2） MSFのオペレーティング・センター（パリ、ブリュッセル、バルセロナ等）経由にてフィールド（現地）へ送金したプログラム支援資金。
（注3） いずれも海外で消費した支援活動費用のMSFJ負担分である。
（注4） 減価償却費は、上記④-4の他に、①、②及び③の「その他」の中にも含まれており、総合計は 21,093,108円である。
（注5） 寄付金管理外注委託料、銀行諸掛、リース金利を含む。
（注6） 経常費用については、MSFの統一基準により、各活動毎に分類し、一定のルールにて費用配賦している。
（注7） 使途指定寄付金 5,896,210円については、当期中に（注2）の救援活動支援費とともに現地へ送金している。（合計13億25百万円）

[English Translation of the Summary of Net Assets Changes Originally Issued in Japanese Language]

Non-Profit Organization

Médecins Sans Frontières Japon

Summary of Net Assets Changes

Fiscal Year 2007

(From January 1, 2007 to December 31, 2007)

(Unit: JPY)

Title	Non-Profit Activity	Profit-making Activity	Total
I. Non-Earmarked Net Assets Changes			
Changes in Operating Item			
(1) Revenues			
① Contributions	**2,302,391,338**		**2,302,391,338**
Donations from private donors (※1)	2,117,970,510		2,117,970,510
Donations from private organizations (※1)	131,149,755		131,149,755
Donations from other organizations	53,271,073		53,271,073
② Other Revenues	**1,907,423**	**941,318**	**2,848,741**
Interest income	702,865	1,053	703,918
Revenues from conference	524,500		524,500
Revenues from sale of goods	0	828,825	828,825
Others	680,058	111,440	791,498
③ Transfer from Earmarked Net Assets	**0**		**0**
Total Revenue	**2,304,298,761**	**941,318**	**2,305,240,079**
(2) Operating Expenditure			
① Missions	**1,395,873,579**		**1,395,873,579**
1. Direct financial support to the field (※2)	1,319,103,790		1,319,103,790
2. Other humanitarian activities (※3)	25,387,624		25,387,624
3. Domestic humanitarian activities	3,174,121		3,174,121
4. Personnel expenses	34,957,042		34,957,042
5. Travel expenses	2,166,237		2,166,237
6. Other expenses	11,084,765		11,084,765
② Awareness Raising/Public Education	**130,003,723**		**130,003,723**
1. Contribution to Access Campaign (※3)	8,949,485		8,949,485
2. Advertisement	44,399,963		44,399,963
3. Direct mail and news letter	20,788,193		20,788,193
4. Personnel expenses	29,659,514		29,659,514
5. Other expenses	26,206,568		26,206,568
③ Fundraising	**533,051,164**	**3,000,763**	**536,051,927**
1. Personnel expenses	47,150,770	505,813	47,656,583
2. Direct mail and news letter	343,683,524		343,683,524
3. Commissions (※5)	60,757,898	389,232	61,147,130
4. Advertisement	29,497,086		29,497,086
5. Mailing,Delivery and telecommunications	15,661,897	32,300	15,694,197
6. Other expenses	36,299,989	2,073,418	38,373,407
④ General Administration	**114,454,730**		**114,454,730**
1. International Office Support (※3)	18,036,129		18,036,129
2. Personnel expenses	56,727,740		56,727,740
3. Travel expenses	7,744,420		7,744,420
4. Depreciation (※4)	5,845,068		5,845,068
5. Commissions (※5)	12,028,983		12,028,983
6. Other expenses	14,072,390		14,072,390
Total Expenditure	**2,173,383,196**	**3,000,763**	**2,176,383,959**
Increase in Non Earmarked Net Assets	**130,915,565**	**△2,059,445**	**128,856,120**
Non Earmarked Net Assets at Beginning of Year	**342,537,116**	**2,222,442**	**344,759,558**
Non Earmarked Net Assets at End of Year	**473,452,681**	**162,997**	**473,615,678**
II. Earmarked Net Assets Changes			
1. Revenues			
Earmarked donations (※7)	5,896,210		5,896,210
2. Expenditure			
① Earmarked field support (※7)	5,896,210		5,896,210
② Transfer to non earmarked net assets	0		0
Change in Earmarked Net Assets	0	0	0
Earmarked Net Assets at Beginning of Year	0	0	0
Earmarked Net Assets at End of Year	0	0	0
III. Net Assets at End of Year	**473,452,681**	**162,997**	**473,615,678**

Notes :

(※1) Including inkind donation of JPY 8,995,459.

(※2) Financial supports which were remitted to the field through MSF Operating centers (Paris, Brussels, Barcelona etc) during the year.

(※3) Overseas expenditure to be born by MSFJ.

(※4) Depreciation is also included in other expenses of (2) - ①, ② and ③ amounting to JPY 21,093,108.

(※5) Outsoursing fees for donor management, bank commission and lease interest are included.

(※6) Operating expenditure is allocated appropriately in accordance with MSF Standards.

(※7) Earmarked donation was also remitted to the field together with the other grants (※2) in the year. (Total grants are JPY1.325 billion)

特定非営利活動法人　国境なき医師団日本

貸借対照表総括表

平成19年12月31日 現在

（単位:円）

科　目	一般合計	収益事業特別会計	内部取引消去	合　計
Ⅰ. 資産の部				
1. 流動資産				
現金及び預金	484,055,208	1,151,601		485,206,809
売掛金		249,285		249,285
商品在庫		424,618		424,618
貯蔵品	208,933			208,933
未収金	713,545			713,545
従業員短期貸付金	796,660			796,660
前払費用	2,663,962			2,663,962
立替金	26,246,601			26,246,601
その他の流動資産	120,111			120,111
収益事業特別会計勘定	1,592,507		△1,592,507	0
流動資産合計	**516,397,527**	**1,825,504**	**△1,592,507**	**516,630,524**
2. 固定資産				
建物附属設備	904,016			904,016
器具備品	4,150,326			4,150,326
ソフトウェア	2,043,834			2,043,834
リース資産	47,591,937			47,591,937
長期差入保証金	5,031,000			5,031,000
固定資産合計	**59,721,113**	**0**	**0**	**59,721,113**
資産合計	**576,118,640**	**1,825,504**	**△1,592,507**	**576,351,637**
Ⅱ. 負債の部				
1. 流動負債				
未払金	44,944,949	70,000		45,014,949
預り金	997,807			997,807
前受金	60,000			60,000
短期リース債務	14,031,913			14,031,913
一般事業会計勘定		1,592,507	△1,592,507	0
流動負債合計	**60,034,669**	**1,662,507**	**△1,592,507**	**60,104,669**
2. 固定負債				
長期リース債務	42,631,290			42,631,290
固定負債合計	**42,631,290**			**42,631,290**
負債合計	**102,665,959**	**1,662,507**	**△1,592,507**	**102,735,959**
Ⅲ. 正味財産の部				
一般正味財産	473,452,681	162,997		473,615,678
正味財産合計	**473,452,681**	**162,997**	**0**	**473,615,678**
負債及び正味財産合計	**576,118,640**	**1,825,504**	**△1,592,507**	**576,351,637**

[English Translation of the Summery of Balance Sheet Originally Issued in Japanese Language]

Non-Profit Organization

Médecins Sans Frontières Japon

Summary of Balance Sheet

(As of December 31,2007)

(Unit: JPY)

Title	Non-Profit Activity	Profit-making Activity	Elimination of internal transaction	Total
Ⅰ. Assets				
1. Current Assets				
Cash and cash equivalents	484,055,208	1,151,601		485,206,809
Accounts receivable for sale of goods		249,285		249,285
Inventories		424,618		424,618
Supplies	208,933			208,933
Other receivables	713,545			713,545
Short-term loan to employees	796,660			796,660
Prepaid expenses	2,663,962			2,663,962
Advances	26,246,601			26,246,601
Other current assets	120,111			120,111
Specific account for profit-making activities	1,592,507		△1,592,507	0
Total Current Assets	**516,397,527**	**1,825,504**	**△1,592,507**	**516,630,524**
2. Non Current Assets				
Buildings and structures	904,016			904,016
Equipment and fixtures	4,150,326			4,150,326
Software	2,043,834			2,043,834
Leased assets	47,591,937			47,591,937
Deposits	5,031,000			5,031,000
Total Non Current Assets	**59,721,113**	**0**	**0**	**59,721,113**
Total Assets	**576,118,640**	**1,825,504**	**△1,592,507**	**576,351,637**
Ⅱ. Liabilities				
1. Current Liabilities				
Accrued expenses	44,944,949	70,000		45,014,949
Deposit received	997,807			997,807
Advance received	60,000			60,000
Short-term lease obligation	14,031,913			14,031,913
General account for MSF operation		1,592,507	△1,592,507	0
Total Current Liabilities	**60,034,669**	**1,662,507**	**△1,592,507**	**60,104,669**
2. Non Current Liabilities				
Long-term lease obligation	42,631,290			42,631,290
Total Non Current Liabilities	**42,631,290**			**42,631,290**
Total Liabilities	**102,665,959**	**1,662,507**	**△1,592,507**	**102,735,959**
Ⅲ. Net Assets				
Non earmarked Net Assets	473,452,681	162,997		473,615,678
Total Net Assets	**473,452,681**	**162,997**	**0**	**473,615,678**
Total Liabilities and Net Assets	**576,118,640**	**1,825,504**	**△1,592,507**	**576,351,637**

特定非営利活動法人　国境なき医師団日本

財産目録総括表

平成19年12月31日 現在

（単位:円）

科　目	一般合計	収益事業特別会計	内部取引消去	合　計
I. 資産の部				
1.流動資産				
現金及び預金	484,055,208	1,151,601		485,206,809
・手許現金	1,149,200			1,149,200
・普通預金　㈱三菱東京UF銀行他	339,162,397	817,961		339,980,358
・振替貯金　（ゆうちょ銀行）	143,743,611	333,640		144,077,251
売掛金	0	249,285		249,285
商品在庫	0	424,618		424,618
貯蔵品	208,933			208,933
未収金	713,545			713,545
従業員短期貸付金	796,660			796,660
前払費用	2,663,962			2,663,962
立替金	26,246,601			26,246,601
・MSFフランス向け	17,216,373			17,216,373
・その他	9,030,228			9,030,228
その他の流動資産	120,111			120,111
収益事業特別会計勘定	1,592,507		△1,592,507	0
流動資産合計	**516,397,527**	**1,825,504**	**△1,592,507**	**516,630,524**
2. 固定資産				
建物附属設備	904,016			904,016
・電気及び通信回線	904,016			904,016
器具備品	4,150,326			4,150,326
・事務用什器備品	320,315			320,315
・情報処理･通信機器	3,349,839			3,349,839
・オーディオ機器等	480,172			480,172
ソフトウェア	2,043,834			2,043,834
リース資産	47,591,937			47,591,937
・寄付管理システム	41,237,675			41,237,675
・備品等	6,354,262			6,354,262
長期差入保証金	5,031,000			5,031,000
事務所･職員社宅敷金等	5,031,000			5,031,000
固定資産合計	**59,721,113**	**0**	**0**	**59,721,113**
資産合計	**576,118,640**	**1,825,504**	**△1,592,507**	**576,351,637**
II. 負債の部				
1. 流動負債				
未払金	44,944,949	70,000		45,014,949
預り金	997,807			997,807
前受金	60,000			60,000
短期リース債務	14,031,913			14,031,913
一般事業会計勘定		1,592,507	△1,592,507	0
流動負債合計	**60,034,669**	**1,662,507**	**△1,592,507**	**60,104,669**
2. 固定負債				
長期リース債務	42,631,290			42,631,290
固定負債合計	**42,631,290**	**0**	**0**	**42,631,290**
負債合計	**102,665,959**	**1,662,507**	**△1,592,507**	**102,735,959**
III. 正味財産の部				
1. 一般正味財産	473,452,681	162,997		473,615,678
正味財産合計	**473,452,681**	**162,997**	**0**	**473,615,678**
負債及び正味財産合計	**576,118,640**	**1,825,504**	**△1,592,507**	**576,351,637**

[English Translation of the Summary of Assets Originally Issued in Japanese Language]

Non-Profit Organization

Médecins Sans Frontières Japon

Summary of Assets

(As of December 31,2007)

(Unit: JPY)

Title	Non-Profit Activity	Profit-making Activity	Elimination of internal transaction	Total
Ⅰ. Assets				
1. Current Assets				
Cash and cash equivalents	484,055,208	1,151,601		485,206,809
Petty cash	1,149,200			1,149,200
Ordinary accounts with banks	339,162,397	817,961		339,980,358
Yucho bank accounts	143,743,611	333,640		144,077,251
Accounts receivable for sale of goods	0	249,285		249,285
Inventories	0	424,618		424,618
Supplies	208,933			208,933
Other receivables	713,545			713,545
Short-term loan for employees	796,660			796,660
Prepaid expenses	2,663,962			2,663,962
Advances	26,246,601			26,246,601
MSF France	17,216,373			17,216,373
Other MSF Operating Centers	9,030,228			9,030,228
Other current assets	120,111			120,111
Specific account for profit-making activities	1,592,507		△1,592,507	0
Total Current Assets	**516,397,527**	**1,825,504**	**△1,592,507**	**516,630,524**
2. Non Current Assets				
Buildings and structure	904,016			904,016
Electricity and communication lines	904,016			904,016
Equipment and fixtures	4,150,326			4,150,326
Equipment for office/Furniture	320,315			320,315
IT related equipment	3,349,839			3,349,839
Audio equipment	480,172			480,172
Software	2,043,834			2,043,834
Leased assets	47,591,937			47,591,937
Donation management system	41,237,675			41,237,675
Equipment etc	6,354,262			6,354,262
Deposits	5,031,000			5,031,000
For rent of office and staff houses	5,031,000			5,031,000
Total Non Current Assets	**59,721,113**	**0**	**0**	**59,721,113**
Total Assets	**576,118,640**	**1,825,504**	**△1,592,507**	**576,351,637**
Ⅱ. Liabilities				
1. Current Liabilities				
Accrued expenses	44,944,949	70,000		45,014,949
Deposit received	997,807			997,807
Advance received	60,000			60,000
Short-term lease obligation	14,031,913			14,031,913
General account for MSF operation		1,592,507	△1,592,507	0
Total Current Liabilities	**60,034,669**	**1,662,507**	**△1,592,507**	**60,104,669**
2. Non Current Liabilities				
Long-term lease obligation	42,631,290			42,631,290
Total Non Current Liabilities	**42,631,290**	**0**	**0**	**42,631,290**
Total Liabilities	**102,665,959**	**1,662,507**	**△1,592,507**	**102,735,959**
Ⅲ. Net Assets				
Non Earmarked Net Assets	473,452,681	162,997		473,615,678
Total Net Assets	**473,452,681**	**162,997**	**0**	**473,615,678**
Total Liabilities and Net Assets	**576,118,640**	**1,825,504**	**△1,592,507**	**576,351,637**

特定非営利活動法人　国境なき医師団日本

キャッシュ・フロー計算書

自 2007年1月1日
至 2007年12月31日

（単位:円）

科　目	当年度(2007年)	前年度(2006年)	増　減
I. 事業活動によるキャッシュ・フロー			
1.事業活動収入			
① 寄付収入	**2,285,126,759**	**2,024,972,913**	**260,153,846**
一般個人寄付収入	2,100,705,931	1,848,744,651	251,961,280
一般法人寄付収入	131,149,755	110,060,344	21,089,411
その他の団体等からの収入	53,271,073	66,167,918	△12,896,845
② その他の収入	**4,037,364**	**14,115,341**	**△9,743,340**
利息収入	703,918	96,584	607,334
公演実施に伴う収入	524,500	375,720	148,780
商品販売事業収入	1,901,099	11,695,299	△9,794,200
その他助成金等	907,847	1,613,101	△705,254
③ その他の調整額	2,220,340	334,637	1,885,703
④ 立替金戻り収入等の調整額	**△21,978,244**	**3,796,690**	**△25,774,934**
事業活動収入　計	**2,269,406,219**	**2,042,884,944**	**224,635,572**
2.事業活動支出			
① 救援活動のための支出	**1,391,965,535**	**1,397,926,057**	**△5,960,522**
現地での救援活動支援費（海外）	1,319,103,790	1,316,262,900	2,840,890
その他の人道支援活動費（海外）	25,387,624	20,526,304	4,861,320
国内(ホームレス)救援活動費	3,174,121	4,093,352	△919,231
人件費	34,474,724	35,588,227	△1,113,503
旅費交通費	2,156,417	14,023,185	△11,866,768
その他諸費用	7,668,859	7,432,089	236,770
② 広報並びに証言活動に要した支出	**116,499,528**	**90,427,581**	**26,071,947**
必須医薬品キャンペーン負担費（海外）	8,949,485	11,882,479	△2,932,994
広告宣伝費	35,947,463	18,424,499	17,522,964
ダイレクトメール・ニュースレター	20,788,193	16,299,056	4,489,137
人件費	29,212,548	21,246,023	7,966,525
その他諸費用	21,601,839	22,575,524	△973,685
③ 募金活動に要した支出	**506,650,380**	**440,058,442**	**66,591,938**
人件費	47,690,107	34,047,968	13,642,139
ダイレクトメール・ニュースレター	344,491,160	319,636,881	24,854,279
諸手数料	61,147,130	41,035,699	20,111,431
広告宣伝費	21,044,586	9,716,250	11,328,336
郵送・通信費	15,694,197	8,930,673	6,763,524
その他諸費用	16,583,200	26,690,971	△10,107,771
④ 一般管理費としての支出	**105,145,485**	**87,201,803**	**17,943,682**
インターナショナル・オフィス活動費（海外）	18,036,129	13,185,022	4,851,107
人件費	59,182,851	45,630,943	13,551,908
旅費交通費	7,338,240	7,256,085	82,155
諸手数料	11,879,868	7,360,144	4,519,724
その他諸費用	8,708,397	13,769,609	△5,061,212
⑤ その他の調整額	**△7,693,971**	**3,862,685**	**△11,556,656**
未払・立替金等の支出に係る調整額	△7,456,956	3,862,685	△11,319,641
預り金等に係る調整額	△566,059	0	△566,059
その他	329,044	0	329,044
事業活動支出　計	**2,112,566,957**	**2,019,476,568**	**93,090,389**
事業活動によるキャッシュ・フロー	**156,839,262**	**23,408,376**	**133,430,886**
II. 投資活動によるキャッシュ・フロー			
1. 投資活動収入			
① 敷金戻り収入	746,450	300,000	446,450
② 従業員貸付金回収	955,992	876,348	79,644
投資活動収入　計	**1,702,442**	**1,176,348**	**526,094**
2. 投資活動支出			
① 敷金支出	△840,000	△541,000	△299,000
② 従業員貸付金支出	0	△2,629,000	2,629,000
③ 固定資産取得支出	△3,521,236	△2,713,471	△807,765
・器具備品取得支出	△3,521,236	△1,232,015	△2,289,221
・ソフトウェア取得支出	0	△1,481,456	1,481,456
投資活動支出　計	**△4,361,236**	**△5,883,471**	**1,522,235**
投資活動によるキャッシュ・フロー	**△2,658,794**	**△4,707,123**	**2,048,329**
III.財務活動によるキャッシュ・フロー			
財務活動支出			
リース債務支出	△12,588,784	△258,216	△12,330,568
財務活動によるキャッシュ・フロー	**△12,588,784**	**△258,216**	**△12,330,568**
IV. 現金及び現金同等物に係る換算差額	**116,349**	**31,547**	**84,802**
V. 現金及び現金同等物の増減額	**141,708,033**	**18,474,584**	**123,233,449**
VI. 現金及び現金同等物期首残高	**343,498,776**	**325,024,192**	**18,474,584**
VII. 現金及び現金同等物期末残高	**485,206,809**	**343,498,776**	**141,708,033**

注）1. 資金の範囲　　資金の範囲には現金及び現金同等物を含めている。
　　2. 重要な非資金取引　　現物により寄付を受けた固定資産が3,629,549円ある。

[English Translation of the Statement of Cash Flows Originally Issued in Japanese Language]

Non-Profit Organization

Médecins Sans Frontières Japon

Statement of Cash Flows

Fiscal Year 2007

(From January 1, 2007 to December 31, 2007)

(Unit: JPY)

Title	This Year (2007)	Previous Year (2006)	Variance
I. Cash Flows from Operating Activities			
1. Revenue from Operations			
① **Contributions**	**2,285,126,759**	**2,024,972,913**	**260,153,846**
Donation from private donors	2,100,705,931	1,848,744,651	251,961,280
Donation from private organizations	131,149,755	110,060,344	21,089,411
Donation from other organizations	53,271,073	66,167,918	△12,896,845
② **Other Revenue**	**4,037,364**	**14,115,341**	**△9,743,340**
Interest received	703,918	96,584	607,334
Revenues from conferences	524,500	375,720	148,780
Sale of goods	1,901,099	11,695,299	△9,794,200
Subventions etc	907,847	1,613,101	△705,254
③ **Other Adjustment**	2,220,340	334,637	1,885,703
④ **Reimbursement of Advances etc**	**△21,978,244**	**3,796,690**	**△25,774,934**
Total Revenues from Operations	**2,269,406,219**	**2,042,884,944**	**224,635,572**
2. Expenditure for Operations			
① **Missions**	**1,391,965,535**	**1,397,926,057**	**△5,960,522**
Direct financial support to the field	1,319,103,790	1,316,262,900	2,840,890
Other humanitarian activities	25,387,624	20,526,304	4,861,320
Domestic humanitarian activities (Homeless)	3,174,121	4,093,352	△919,231
Personnel expenses	34,474,724	35,588,227	△1,113,503
Travel and transportation expenses	2,156,417	14,023,185	△11,866,768
Other expenses	7,668,859	7,432,089	236,770
② **Awareness Raising and Public Education**	**116,499,528**	**90,427,581**	**26,071,947**
Contribution to Access Campaign	8,949,485	11,882,479	△2,932,994
Advertisement	35,947,463	18,424,499	17,522,964
Direct mail and news letter	20,788,193	16,299,056	4,489,137
Personnel expenses	29,212,548	21,246,023	7,966,525
Other expenses	21,601,839	22,575,524	△973,685
③ **Fundraising**	**506,650,380**	**440,058,442**	**66,591,938**
Personnel expenses	47,690,107	34,047,968	13,642,139
Direct mail and news letter	344,491,160	319,636,881	24,854,279
Commissions	61,147,130	41,035,699	20,111,431
Advertisement	21,044,586	9,716,250	11,328,336
Mailing,Delivery and telecommunications	15,694,197	8,930,673	6,763,524
Other expenses	16,583,200	26,690,971	△10,107,771
④ **General Administration**	**105,145,485**	**87,201,803**	**17,943,682**
International Office support	18,036,129	13,185,022	4,851,107
Personnel expenses	59,182,851	45,630,943	13,551,908
Travel and transportation expenses	7,338,240	7,256,085	82,155
Commissions	11,879,868	7,360,144	4,519,724
Other expenses	8,708,397	13,769,609	△5,061,212
⑤ **Other Adjustment**	**△7,693,971**	**3,862,685**	**△11,556,656**
Advances	△7,456,956	3,862,685	△11,319,641
Adjustment for deposit received etc	△566,059	0	△566,059
Other adjustment	329,044	0	329,044
Total Expenditure for Operations	**2,112,566,957**	**2,019,476,568**	**93,090,389**
Cash Provided by Operating Activities	**156,839,262**	**23,408,376**	**133,430,886**
II. Cash Flows from Investing Activities			
Revenues from Investing Activities			
① Reimbursement of deposits	746,450	300,000	446,450
② Repayment of loans to employee	955,992	876,348	79,644
Total Revenues from Investing Activities	**1,702,442**	**1,176,348**	**526,094**
Expenditure from Investing Activities			
① Payment of deposit	△840,000	△541,000	△299,000
② Granting loans to employee	0	△2,629,000	2,629,000
③ Payment for fixed assets purchase	△3,521,236	△2,713,471	△807,765
· Equipment and fixtures	△3,521,236	△1,232,015	△2,289,221
· Software	0	△1,481,456	1,481,456
Total Expenditure from Investing Activities	**△4,361,236**	**△5,883,471**	**1,522,235**
Net Cash Used in Investing Activities	**△2,658,794**	**△4,707,123**	**2,048,329**
III. Cash Flows from Financial Activities			
Expenditure for Financing Activities			
Repayment of lease obligation	△12,588,784	△258,216	△12,330,568
Net Cash Used in Financing Activities	**△12,588,784**	**△258,216**	**△12,330,568**
IV. Effect on Changes in Exchange Rate on Cash and Cash Equivalents	**116,349**	**31,547**	**84,802**
V. Net Increase in Cash and Cash Equivalents	**141,708,033**	**18,474,584**	**123,233,449**
VI. Cash and Cash Equivalents at Beginning of Year	**343,498,776**	**325,024,192**	**18,474,584**
VII.Cash and Cash Equivalents at End of Year	**485,206,809**	**343,498,776**	**141,708,033**

Notes : 1. Scope of Cash : Scope of cash includes cash and cash equivalents.

2. Significant non-cash transaction : MSFJ received fixed assets as inkind donations of JPY 3,629,549.

財務諸表への注記

1. 重要な会計方針

(1) 棚卸資産の評価基準及び評価方法
最終仕入原価法によっております。

(2) 固定資産の減価償却の方法
① 有形固定資産
定額法によっております。(耐用年数は3年及び5年)
② ソフトウェア
定額法によっております。(耐用年数は3年)

(3) 消費税等の会計処理
税込方式によっております。

(4) リース取引の処理方法
ファイナンス・リースに該当する取引はすべて「リース取引に係る会計基準」に準拠し、売買処理によってリース資産及びリース債務(短期及び長期リース債務)を計上する会計処理を行っております。尚当該資産は償却資産並びにソフトウェアであり、3年又は5年に亘り減価償却しております。

2. 基本財産及び特定財産の増減額、その残高および財源等の内訳

指定正味財産・一般財産として受け入れた資産のうち、基本財産及び特定資産として区分・運用している財産・資産はありません。

3. 担保に供している資産

該当事項はありません。

4. 固定資産の取得価額・減価償却累計額及び期末残高

(単位:円)

科　目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建物附属設備	2,187,102	1,283,086	904,016
什　器	1,880,395	1,560,080	320,315
備　品	9,933,934	6,584,095	3,349,839
ビデオ機器	1,502,992	1,022,820	480,172
ソフトウェア	3,310,405	1,266,571	2,043,834
リース資産 (合計)	69,510,203	21,918,266	47,591,937
建物付属設備	7,948,272	3,025,359	4,922,913
器具備品	2,179,680	748,331	1,431,349
ソフトウェア	59,382,251	18,144,576	41,237,675
総合計	88,325,031	33,634,918	54,690,113

5. 債権及び貸倒引当金の当期末残高

債権の額及び貸倒引当金の当期末残高は次の通りです。

(単位:円)

科　目	債権額	貸倒引当金の当期末残高	債権の当期末残高
売掛金	249,285	0	249,285
未収入金	713,545	0	713,545
総合計	962,830	0	962,830

6. 保証債務等の偶発債務

該当事項はありません。

7. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価額

該当事項はありません。

8. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

該当事項はありません。

9. 関連当事者との取引の内容

該当事項はありません。

10. 重要な後発事象

該当事項はありません。

11. その他

(1) キャッシュ・フロー計算書の開示方法
キャッシュ・フロー計算書につきましては、当期より前期と比較対照する形で開示しております。

Notes to Financial Statements

1. Summary of Significant Accounting and Reporting Policies

(1) Valuation of inventory assets
Inventories are stated at most recent purchase prices.

(2) Depreciation of fixed assets
① Tangible fixed assets
Straight-line method, with a 3 or 5 years useful life of assets
② Software
Straight-line method, with a 3 or 5 years useful life of assets

(3) Computation of consumption tax
All amounts stated are inclusive of national consumption tax and local consumption tax.

(4) Leased assets
Financing leases are accounted for in accordance with "the accounting standard for leased assets and the MSFJ recognizes the leased assets and the lease obligations (Short-term and long-term lease obligation) in the balance sheet.The depreciation period of the leased assets are 5years for buildings and structures and 3 years for software etc.

2. The description about the balance, fluctuation and financial resources endowed of the endowment and the specific assets

There are no assets classified as the endowment or special assets which was received as earmarked net assets and/or non earmarked net assets.

3. Assets pledged as collateral

N/A

4. Acquisition costs, accumulated depreciation and the carrying amounts of fixed assets at the end of current fiscal year

(Unit: JPY)

Title		Acquisition costs	Accumulated Depreciation	Carrying amounts at the end of current year
Buildings and structures		2,187,102	1,283,086	904,016
Equipment		1,880,395	1,560,080	320,315
Furniture		9,933,934	6,584,095	3,349,839
Video Set		1,502,992	1,022,820	480,172
Software		3,310,405	1,266,571	2,043,834
Leased assets (Total)		69,510,203	21,918,266	47,591,937
	Buildings and structures	7,948,272	3,025,359	4,922,913
	Equipment and structures	2,179,680	748,331	1,431,349
	Software	59,382,251	18,144,576	41,237,675
Grand Total		88,325,031	33,634,918	54,690,113

5. The amount of receivables, allowance for bad debts and receivables at the end of current fiscal year

The amount of receivables, balance of allowance for bad debts and receivables at the end of the current year are as follows.

(Unit: JPY)

Title	Amount	Allowance for bad debts at end of current fiscal year	Receivables at the end of current fiscal year
Accounts receivable for sale of goods	249,285	0	249,285
Other receivables	713,545	0	713,545
Total	962,830	0	962,830

6. Contingent liabilities

N/A

7. The description of the book value, fare value and valuation gains/loss of held-maturity securities

N/A

8. The description of and the fluctuation of the subvention received for the current period

N/A

9. The description about the transaction between the related parties

N/A

10. Significant subsequent events

N/A

11. Others

(1) Disclosure of Cash Flow Statement
Cash flow statement is prepared representing comparison with the previous year.

2007年度 財務報告

国境なき医師団日本（以下 MSFJ）の2007年度の総収入額は（指定寄付金を含め）23億11百万円となり、前年比10.3%の伸びを示しました（前年度の総収入額は、20億96百万円）。これは従来のご寄付者からの変わらぬご支援とともに、新たに我々の呼びかけに応えていただいた皆様の善意の賜物であります。

一方、総支出額も、21億82百万円と初めて20億円を超え、前年比12.1%の伸びとなりました（前年度の総支出額は、19億47百万円）。これら総支出額の内訳は、「総救援活動費」1,532百万円（使途指定分を含む救援活動費1,402百万円及び広報活動費130百万円の合計）、募金活動費536百万円、一般管理費114百万円であります。

2007年度の総支出額に対する各活動費の比率をみると、寄付金100円当り70.2円を「総救援活動費」（救援活動費及び広報活動費の合計）に、24.6円を募金活動費に、5.2円を一般管理費に充当した事になります。（2006年度の同比率は、夫々 72.4円、23.1円、4.5円）前年同期比で「総救援活動費」の比率が下がり、募金活動費の比率が上がりましたが、これは多くの皆様からのご支援を募るため、募金活動により多くの資源を投入したためであります。
その結果、現地での直接的な救援活動に対する支援額は13億25百万円（使途指定分を含め）となり、前年度比7.6%の増加となりました（2006年度は12億31百万円）。この直接的な救援活動に対する支援金13億25百万円は、MSFのオペレーション・センターが世界各地で展開した救援プログラムに対し供与されております。その内訳は、アフリカ地域（コンゴ、ケニア、ニジェール等 約6億5百万円）、中央アジアを含むアジア地域（グルジア、アルメニア、中国等約7億円）、ラテンアメリカ（グァテマラ、約20百万円）であります。主要プログラムの内容は、AIDS及び結核の治療に関するプログラム、並びに国内紛争による避難民への緊急医療援助等であります（当期の資金供与先については、財務ハイライトの一覧表をご参照下さい）。尚、特定目的のためにお預かりした募金は、当組織の基本理念に則り、その全額を該当する使途に充当させて頂いております。

MSFJは、2007年度において支援活動での成長を遂げる一方で、適正な正味財産を蓄積することで、将来的にもよりバランスのとれた健全な財政状態を維持しております。MSFJは、内部統制環境の見直し、寄付金管理業務のアウトソース化を行うと共に、従来の会計システムをより高度なものに更新するなど、経営の更なる効率化を目指しました。

本財務報告は、前期同様、世界19カ国のMSF支部が採用している国際会計基準に準じて作成されており、お預かりした寄付金の内外での使途につきましては、できる限り透明性を確保し、詳細且つ明瞭な開示を心掛けております。

Financial Report 2007

Thanks to the continuing support of donors, total income of MSF Japan in 2007 reached JPY 2.31 billion (including earmarked donation), representing an increase of 10.3% over 2006 (total income in 2006 JPY 2.10 billion). On the other hand, the 2007 total expenditure of JPY 2.18 billion (including earmarked grants) exceeded JPY 2 billion for the first time, representing an increase of 12.1 % over 2006 (total expenditure in 2006 JPY 1.95 billion). Breakdown of this expenditure shows “Social Mission” related expenditure of JPY 1.53 billion (operations included earmarked grants JPY 1.40 billion plus awareness raising JPY 0.13 billion), fundraising JPY 0.54 billion and administration JPY 0.11 billion.

From the view point of the ratio of each activity to total expenditures, out of JPY 100 donated, JPY 70.2 was spent on the “Social Mission”, JPY 24.6 on fundraising and JPY 5.2 on administration (figures for 2006 were JPY 72.4, JPY 23.1 and JPY 4.5 respectively). Compared with 2006, the ratio of funds spent on “Social Mission” decreased and on fundraising increased. The increase in fundraising was the result of prioritized allocation of resources to fundraising activities in order to increase the number of donors. Consequently funds raised increased and the amount directly allocated to field programs increased by 7.6%, to JPY 1.33 billion (JPY 1.23 billion in 2006).
The above JPY 1.33 billion funds were allocated as follows: Africa JPY 0.61 billion (Congo DR, Kenya, Niger etc), Asia including central Asia JPY 0.70 billion (Georgia, Armenia, China, etc) and Latin America JPY 0.02 billion (Guatemala). Programs covered patients suffering from AIDS and tuberculosis, as well as refugees in danger due to domestic conflicts (See graphs in financial highlights for further details). All funds contributed or raised for a specific purpose were spent for that purpose, in accordance with the basic ethics of MSF Japan.

MSF Japan has reviewed the process of internal control for updating and streamlining donation management by introducing outsourcing and has improved the efficiency of the daily accounting procedures. During the year MSFJ increased accumulated net assets which ensures a solid and well-balanced financial structure for the future.

Finally these financial statements have been prepared in conformity with the accounting standards adopted by all of the MSF movement as in the past. Furthermore financial statements have been prepared to be more detailed, comprehensive and transparent, in order not only to represent a clearer picture of our financial position but also to provide proper information on how donations have been utilized internally as well as externally.

財務ハイライト2007
Financial Highlights 2007

活動実績の推移

（単位：百万円）

主要活動 ＼ 事業年度	2006 自2006年1月1日 至2006年12月31日	総費用に対する比率	2007 自2007年1月1日 至2007年12月31日	総費用に対する比率	増減額（前年同期比）	比率（前年同期比）
Ⅰ 経常収入 （注1）	2,096		**2,311**		215	10.3%
うち寄付金収入(含む現物) （注1）	2,026		2,308		282	13.9%
Ⅱ 経常費用 （注2）	1,947	100%	**2,182**	100%	235	12.1%
救援活動費 ①	1,317	67.6%	**1,402**	**64.3%**	85	6.5%
救援活動支援費(直接資金供与) （注3）	1,231		1,325	（注6）	94	7.6%
その他の人道支援活動費	25		25		-	0.0%
その他費用	61		52		△9	△14.8%
広報活動費 ② （注4）	93	4.8%	**130**	**6.0%**	37	39.8%
必須医薬品ｷｬﾝﾍﾟｰﾝ(海外活動)	12		9	（注6）	△3	△25.0%
広告宣伝費	18		44		26	144.4%
その他(人件費等)	63		77		14	22.2%
募金活動費 （注4）	449	23.1%	**536**	**24.6%**	87	19.4%
ﾀﾞｲﾚｸﾄﾒｰﾙ・ﾆｭｰｽﾚﾀｰ	323		344		21	6.5%
その他(人件費等)	126		192		66	52.4%
一般管理費	88	4.5%	**114**	**5.2%**	26	29.5%
ｲﾝﾀｰﾅｼｮﾅﾙ・ｵﾌｨｽ活動費（海外活動）	13		18		5	38.5%
その他(人件費等)	75		96		21	28.0%
一般正味財産増減額（Ⅰ-Ⅱ）	149		**129**		△20	△13.4%
一般正味財産期末残高 （注5）	345		**474**		129	37.4%
救援活動支援費（救援①+広報②）	1,410		**1,532**		122	8.7%
ソーシャル・ミッション・レシオ （注6）	72.4%		**70.2%**		△2.2%	-

2007年度のMSFJによる救援対象地域

（単位：百万円）

救援資金の主要供与先	アフリカ地域		西-中央アジア地域		その他のアジア地域		ラテンアメリカ		合計	
	605	46%	485	37%	215	16%	20	2%	1,325	100%

尚、上記は2008年3月末時点の情報に基づく。

2007年度の概況

（注1） 総収入は、指定寄付金の6百万円を含め、23億11百万円となり、前年同期比10.3%の増加となった。

（注2） 使途指定の現地サポート費用を加えた総費用は21億82百万円となり、始めて20億円を超えた。前年同期比では12.1%の増加である。

（注3） 現地への活動資金の供与額は（指定分を含め）、前年同期比で7.6%伸び13億25百万円となった。主な使途は下表の通り。

（注4） 当期は特に広報活動及び資金調達活動に重点を置いた結果、同活動費は前年同期比で夫々39.8%、19.4%の増加となった。

（注5） 内部留保である「一般正味財産期末残高」は前年同期比で37.4%伸び、業績の伸長と共に財務の健全性を示している。

（注6） 国境なき医師団では、救援活動（現地への直接資金援助等）と広報（証言）活動を併せ"**ソーシャル・ミッション**"と称し、その合計額と総費用との比率を、直接的な救援活動の程度を表す内部指標として活用している。当期の同比率は約70%で、寄附金100円のうち、70円を現地への直接支援に充当している事になる。尚、募金活動及び管理活動は、25円、5円である。尚、当期のソーシャル・ミッション・レシオが前期比で下落したのは、新規ドナー獲得の為、募金活動に重点を置いたことに因る。

Overview of Business activities

(JPY Milion)

Major Activities ＼ Business Year	2006 From Jan.1, 2006 To Dec.31, 2006	Ratio to total expend.	2007 From Jan.1, 2007 To Dec.31, 2007	Ratio to total expend.	Variance	Ratio
Ⅰ Operating revenue (※1)	2,096		**2,311**		215	10.3%
Donation (inclu.Earmarked) (※1)	2,026		2,308		282	13.9%
Ⅱ Operating expenses (※2)	1,947	100%	**2,182**	100%	235	12.1%
Missions ①	1,317	67.6%	**1,402**	**64.3%**	85	6.5%
Field support (※3)	1,231		1,325	(※6)	94	7.6%
Other humanitarian activities	25		25		-	0.0%
Others	61		52		△9	△14.8%
Awareness raising ② (※4)	93	4.8%	**130**	**6.0%**	37	39.8%
Access Campaign	12		9	(※6)	△3	△25.0%
Advertisement	18		44		26	144.4%
Others (including personnel)	63		77		14	22.2%
Fundraising (※4)	449	23.1%	**536**	**24.6%**	87	19.4%
Direct Mails and News Letters	323		344		21	6.5%
Others (including personnel)	126		192		66	52.4%
General Administration	88	4.5%	**114**	**5.2%**	26	29.5%
International office support	13		18		5	38.5%
Others (including personnel)	75		96		21	28.0%
Increae in non-earmarked net assets (Ⅰ-Ⅱ)	149		**129**		△20	△13.4%
Net assets at end of Year (※5)	345		**474**		129	37.4%
Social Mission (above ① + ②)	1,410		**1,532**		122	8.7%
Social Mission Ratio (※6)	72.4%		**70.2%**		△2.2%	-

Major countries /districts where donations were utilized in 2007

(JPY Milion)

Funds by regions	Africa		West-Central Asia		Other Asia		Latin America		Total	
	605	46%	485	37%	215	16%	20	2%	1,325	100%

Above is based on the data available as of end of March 2008.

Overview of 2007

(※1) Total revenues of 2007 including earmarked donation of JPY 6 Mil recorded JPY 2,311 Mil representing 10.3% increase over 2006.

(※2) Expenditure including earmarked support was JPY2.18 Bil, increased by 12.1% over 2006.

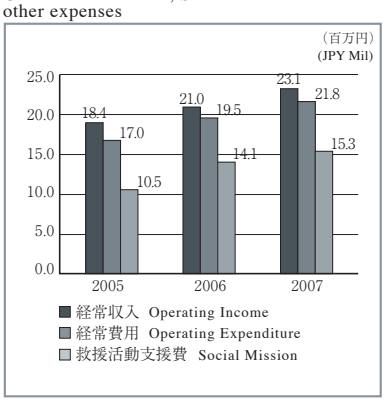
(※3) Grants to the field including earmarked one was JPY1.33 Bil indicating 7.6% increase with the following details of allocation by country.

(※4) Awareness raising and Fundraising costs showed incerase of 39.8% and 19.4% as result of prioritized resource investment.

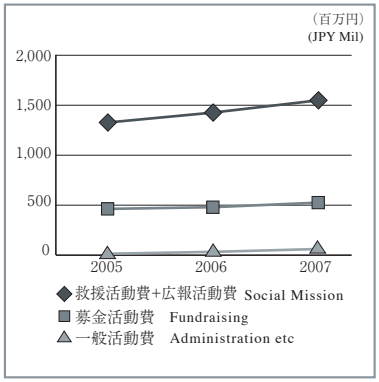
(※5) Acculmulated net assets shows 37.4% increase representing stable as well as a successful growth.

(※6) MSF utilizes **Social Mission Ratio** which is the ratio of total social mission expenditures to total expenditures, as a financial index for strategic purpose and 70 % means that out of JPY 100 donated, JPY 70 is allocated directly to the field. Allocation to fundraising activity and administration activity are JPY 25 and JPY 5. **Social Mission Ratio** went down in 2007 due to increased fundraising costs in order to recruit more donors.

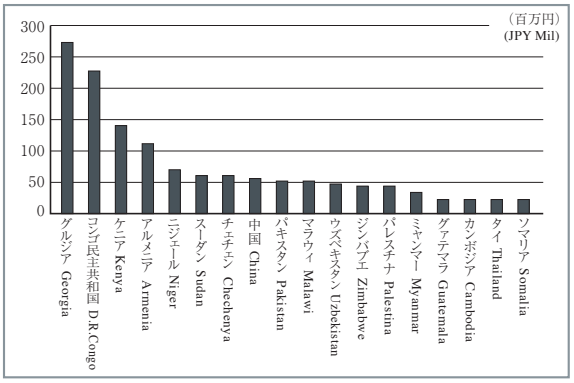
収入・救援活動支援費及びその他費用の推移
Growth of Revenues, Social Mission and other expenses



各活動費の推移
Growth of Expenses by Activity



2007年度 MSFJによる国別資金援助実績
Status of Grants Utilization by Country



謝辞
Acknowledgment

ありがとうございました

MSF日本は2007年も、下記の企業・法人を始めとするさまざまな団体、個人の皆様からの寄付・協力に支えられ、世界各国でのMSFの医療援助活動に資金を提供することができました。苦境に置かれた人々に医療を届けることを可能としてくださいました皆様の御厚意に、心よりお礼申し上げます。

【MSFコーポレートサポーター・プログラム】

株式会社 シグマ

【催事協賛】

株式会社 小学館
株式会社 公文教育研究会
日本ヒューレット・パッカード株式会社
社団法人日本医師会

【寄贈】

マイクロソフト株式会社
日本ヒューレット・パッカード株式会社
ノースウエスト航空会社
株式会社リコー
K2
モリソン・フォースター外国法事務弁護士事務所

【MSFこどもブックレットスポンサー】

株式会社 小学館

イーバンク銀行株式会社、オリエント貿易株式会社、グンゼ株式会社、積水ハウス株式会社、ソニー株式会社、ソネット・エムスリー株式会社、大和ハウス工業株式会社、株式会社CHINTAI、株式会社デンソー、株式会社日産フィナンシャルサービス、フェリシモ基金事務局、松下電器産業株式会社、楽天KC株式会社、株式会社リクルート、ヤフー株式会社、ユナイテッドピープル株式会社　（順不同）

その他3,818の企業・団体、99,704名の個人の皆様よりご寄付を頂きました。誠にありがとうございました。

「MSFコーポレートサポーター」プログラム

MSF日本では、企業・団体からの継続的なご支援を広く呼びかけるプログラムを立ち上げ、参加を募っています。企業・団体の皆様からの継続的なご支援は、MSFの活動を通じ、助けを待つ患者のもとに救命医療・人道援助を届けてゆく力となります。

援助対象	MSFが活動を行っている約60ヵ国での、医療援助プログラム （栄養失調児への治療、外科手術、感染症対策および治療、予防接種、母子保健、心理ケア等）
期 間	年次（随時ご参加いただけます。参加日より1ヵ年毎となっております。）

プログラム参加企業・団体の皆様へは、年次報告を毎年4月（予定）にさせていただきます。

お問合せ　TEL：03-5337-1376（直通）　FAX：03-5337-1491
e-mail：support@tokyo.msf.org

©MSF　ヨルダン

©f.z. for MSF　コロンビア

©Michael Goldfarb / MSF　ウガンダ

©Anne Yzebe / MSF　ニジェール

©Susan Sandars /MSF
ケニア

©MSF
マラウイ

©Nicolas Postal
ケニア

©Anthony Jacopucci / MSF
ニジェール

理事 *Board of Directors*

会　長 *President*	**井田 覚** *Satoru Ida*
副会長 *Vice President*	**草谷 洋光** *Hiromitsu Kusagaya MD*
副会長 *Vice President*	**久留宮 隆** *Takashi Kurumiya MD*
専務理事 *Secretary General*	**田中 躍** *Yaku Tanaka MD*
会計役 *Treasurer*	**菅原 由佳** *Yuka Sugahara*
	カラン 知 *Tomo Calain*
	ジル・デルマス *Gilles Delmas*
	アラン・フレデーグ *Alain Fredaigue*
	加藤 寛幸 *Hiroyuki Kato MD*
	北原 千津子 *Chizuko Kitahara*
	ウニョン・コー *Eunyoung Ko MD*
	百瀬 和元 *Kazumoto Momose*

監事 *Controller*

木村　文平
Bumpei Kimura MD

事務局長 *General Director*

エリック・ウアネス
Eric Ouannes

国境なき医師団(MSF)日本は1992年に設立されました。19ヵ国にあるMSFの支部のひとつとして1997年には独立組織となり、1999年10月に東京都から特定非営利活動法人として認められ、さらに2002年7月25日より認定特定非営利活動法人(認定NPO法人)として国税庁の認定を受けています。

海外派遣スタッフ募集中

医療従事者および財務人事などの専門家を常時募集しています。お気軽にお問い合わせください。

TEL:03-5337-1499 (リクルート担当直通)
recruit@tokyo.msf.org

活動をご支援ください

MSFの活動は皆様の寄付に支えられています。お申し込みは、

フリーダイヤル 0120-999-199
(受付時間:8:00-22:00)

またはMSFウェブサイトから。

特定非営利活動法人
国境なき医師団日本

〒169-0075 東京都新宿区高田馬場3-3-13
TEL:03-5337-1490(代表)　FAX:03-5337-1491

海外派遣スタッフに関するお問い合わせ
派遣説明会お申し込み
TEL:03-5337-1499
recruit@tokyo.msf.org

ご寄付に関するお問い合わせ
口座名義・住所など各種変更届
TEL:03-3764-7680(寄付管理データセンター)
support@tokyo.msf.org

広報に関するお問い合わせ
現地情報・必須医薬品キャンペーン
TEL:03-5337-1388
press@tokyo.msf.org

その他のお問い合わせ
TEL:03-5337-1490
office@tokyo.msf.org

www.msf.or.jp